

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
タキロンシーアイ株式会社	代表取締役社長	齋藤 一也	大阪府	製造業	https://www.takiron-ci.co.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2020年4月1日
-------	-----------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	・取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A ⑭	船舶や鉄道へのモーダルシフト	・長距離輸送について、トラックからフェリーや鉄道の利用への転換を推進します。
3	A ⑮	納品日の集約	・取引先への隔日配送化、定曜日配送化等の納品日の集約に関して積極的に提案します。
4	C ①	契約の相手方を選定する際の法令遵守状況の考慮	・契約する物流事業者を選定する際には、関係法令の遵守状況を考慮します。
5	D ②	異常気象時等の運行の中止・中断等	・台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運送依頼を行いません。また、運転者の安全を確保するため、運行の中止・中断等が必要と物流事業者が判断した場合は、その判断を尊重します。
6	F ①	グループ拠点ネットワークの構築	・生産・物流ネットワークの最適化を図り、製品輸配送・パレット回収において、共同化の施策を推進し、トラック長距離輸送の緩和、積載率向上、車両回転率の向上に努めます。

PR欄	<p>タキロンシーアイ(株)は、『今日を支える、明日を変える。』という企業メッセージのもと環境に配慮した製品やサービスを提供することで社会課題の解決に寄与していきたいと考えています。</p> <p>物流につきましてもグループ全体で配送拠点の見直しを行う一方、幹線トラックのトレーラー化やモーダルシフトの推進、更にはお客様の発注を纏めていただくよう働きかける等、積載効率の向上にむけ積極的に行動してまいります。</p>
-----	--